

地域を紡ぐ、人の「生きる」を紡ぐ・・・

## 西京 京都生協のお買いもの支援、移動販売車出発

西京区 田中與念子

### 自分の目で見てお買いものは楽しい・・・

8月14日金曜日11時55分、夏の暑い太陽が照りつける洛西竹の里団地集会所横に移動販売車が到着している。早々と待ちかねた組合員さんが買い物に来られた。「以前いたところでは生協に入っていたけれど、こ



こではまだ入っていなかったの。でも近くまで移動販売車が来てくれると聞いて」と言っていて京都生協に加入された方。また、「迎えに来てくれたの」と、近所の人に抱きかかえられるようにして杖をついて来られた方など。そして、以前から知り合いらしく、挨拶をする姿も見受けられた。「自分の目で見て買い物をするのは楽しいわ。」この日は20分の間に7の方が買い物に来られた。

### お買いもの、どうにかならないか の声に寄せて・・・

#### 移動店舗「おかいもの便」お披露目式

7月31日移動店舗お披露目式が洛西ニュータウン竹の里の「わくわくサロン」前で、NPO法人洛西福祉ネットワーク（以下ネットワーク）と京都生協の主催で執り行われた。

主催者であるネットワーク理事長の齊藤さんより移動店舗お披露目式にいたるまでの経緯が一通り報告された。この地域に生鮮食料品を扱うスーパーがなくなり、地域の人から「買い物が不便になって困っている」との声が齊藤さんのもとにも寄せられていた。今までにも「どうにかならないか」と他にも働きかけをしたことがあった。この声に京都生協がこたえてくれたことなどが語られた。

各政党議員や農協の方なども来賓で参加されていた。ネットワークが主催する「買い物支援事業 買いもの取次ぎ所」の看板の除幕式。その後、移動店舗のテープカットが行われた。

お買いもの取次ぎサービスは、「わくわくサロン」を通して注文をした商品をこのサロンで預かってくれるサービスで、当面週1回JAのお店と提携して行う。

### お肉にお野菜、牛乳、アイスクリーム・・・ 夢と希望ものをせて・・・

初めてのお買いものも行われた。



車内は少し狭いがたくさんの品物がうまく陳列されている。お肉やお野菜、牛乳、パン、日用品、アイスクリームやお弁当だってある。車内にないものも注文すれば次回には商品も持ってきてくれる。

8月4日にスタートした移動店舗は、当初4か所で開催した。8月中にもう2か所、9月からさらに2か所の合計8か所で当面販売される。

「他の自治会でも検討していただいているところもあり、徐々に増やしていけたら・・・」と中山京都生協事業戦略室移動店舗チーフの言葉。

動き始めた移動店舗。生協の商品とともに優しい街づくり、夢と希望をのせて走ります！



### 地域を創る、未来を創る・・・

洛西地域では、第一回洛西居場所交流会が今年3月に開かれました。京都市の中でも居場所づくりのちょっと先進地域。交流会では「お互いをもっと知りたい」と洛西ニュータウン居場所カフェ・スタンプラリーの提案もありました。今秋開催できないかと検討中です。

洛西地域居場所カフェ8か所のうち、1か所でも2か所でも一緒に訪問してみませんか。きっとコーヒーの香りとともに、街づくりのヒントが見えてきますよ。



京都生協も誕生して50年。これからの50年、21世紀の京都生協を、未来と一緒に創りませんか。